

札幌太田病院における文献検索

～ EBM とオンラインでの医療文献の検索～

札幌太田病院 図書室

鎌田 八千代¹⁾

1) 司書

1. はじめに

医療文献検索は近年のインターネットの普及や、QOL、EBM 及びインフォームドコンセントなど医療現場を取り巻く状況の変化に伴ない、めざましい進歩をとげてきている。ことに医療現場に米で始まった EBM の手法が取り入れられ、治療や看護が何を基になされたかが重要になってきた。

情報オンライン化の進歩により、今日では文献検索という言い方までが妥当性を欠き「情報検索」というべきだとの意見もある。医療現場においての EBM の手法は、確かな文献の入手方法をこれまでの大学や公共機関、病院、専門医療施設を通じての相互貸借や、足を運んでの地道な investigation にとって代わり、現場又は自宅でオンラインによる新しい情報入手を可能にした。これは医療従事者にとって大きなメリットでもある。今後は、いかに迅速に確実な文献を入手するかが医療

現場での EBM の大きな鍵になってくると考えられる。

EBM の手法とは即ち行動様式であり「個々の患者の臨床上における疑問に関して STEP-1：医師が関連文献を検索し STEP-2：それらを批判的に吟味し STEP-3：患者の価値観、行動を考慮しながら臨床判断を下し STEP-4：専門技能を活用して医療を行うこと」だからである。これらを踏まえて、文献検索にあたっての現況と改善について報告する。

2. EBM としての海外文献、国内文献の検索の現況

当病院におけるオンライン医療文献の国内文献の検索ツールは、メティオインターゲート提供のメディカルオンラインである。検索は無料で抄録・全文（ダウンロード時に課金）入手可能であり学会誌は 1950 ないし 60 年

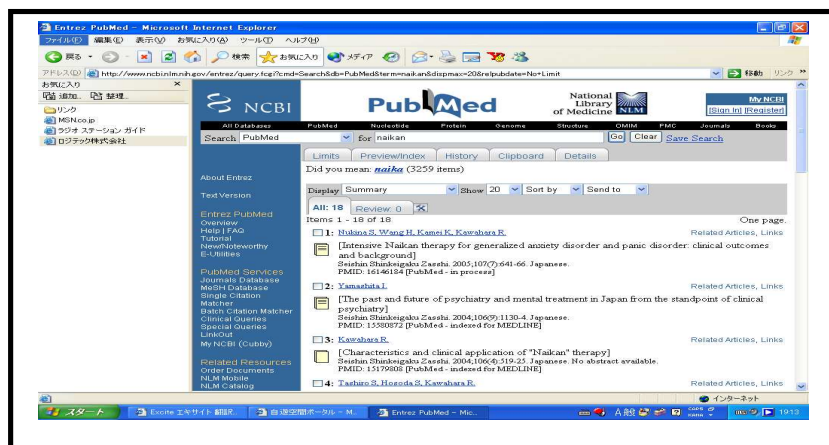


図 1 Pub Med

代から参照も可能になっている。学術専門誌は、1995年以降のものが中心である。外国文献検索にあたってはFree Medlineの最新、最速といわれる「Pub Med」(図1)を中心

に研修医、医師などが主に利用している。これとは別に医学洋雑誌のFull Textを読むことが可能である。

表1 FullTextが見られる当病院の洋雑誌タイトルなど

洋雑誌タイトル	出版社	Full Text アクセス 状況	インパクトフ ァクター順位	分野別
NewEngland journal of medicine	NEJM	可	1位	総合医学
The lancet	ELSEVIER	可	2位	総合医学
JAMA & Archives	AMA	(10月頃可能)	4位	総合医学
Psychiatry	AJP	可		精神医学

EBMにおいて学会、研究会論文に比べ雑誌論文が有効である理由は、速報性とレフェリーシステムをクリアした信頼性に他ならない。更に信頼度を求めるならばインパクトファクターなどが参考になる。(表1)

しかしながら、他の医療機関も同様と思われるが国内の医療文献のオンラインは、導入後の歳月が浅く今だ利用手段、方法とその整理および管理については手探りの段階であることも実情である。

3. 改善事由と目的

従来メディカルオンラインを利用した和文医療文献の検索(図2)は、プレインタビューを口頭のみによる聞き取りの形で実施してきた。しかし、検索を求める側の構想が明確でないことや、勤務形態などのずれ違い等により時間的なロスが生じていた。これらの改善を図るため、

- 1) 当病院での検索までのアプローチの確立
 - 2) コストと時間を省く
- の二つの目的をもって、文献検索のための用紙の導入を試みた。(表2)

文献検索の手順としては 質問の受付 質

問の明確化 質問の分析・予備調査 二次資料の選択 検索実行 結果の検討 アブストラクトの本人選択とダウンロードまでとした。

4. 期間・方法・対象

期間は2005年7月11日~8月10日の1ヶ月。

方法は下記の通りである。

- 1) 用紙の形式として病院図書研究会のものを採択し作成した。
- 2) プレインタビューの際に検索する側が聞き込みをして書くという従来の方法を止め、内容の記入を総て検索希望者本人の記入にした。

AND OR NOT 条件に値するキーワードを明確にし、可能な限り複数の語の記入をしてもらった。

- 3) 既得文献の情報の有無を明確にした。
- 4) いつまでに何件欲しいかもこの段階で掴めるようにした。
- 5) メディカルオンラインに入る前に記入されたキーワードを元として他の医療文献Freeサイトにアクセスをした。

対象は医療従事職員の2例で実施した。

表2 文献検索申込書

文献検索申込書				
申込者氏名	所属	申込日	備考	
		年 月 日		
調査内容	テーマ			
	キーワード			
	言語	日本語	英語	他
	年齢層			
	会議録	要	不要	
調査期間	過去の年または	年	～ 年	
調査目的	臨床	研究	教育	
期待する文献数	多い	少ない		
既知の関連文献				
調査記録				
回答日	年 月 日			
予備調査				
二次資料				
備考				
札幌太田病院図書室				

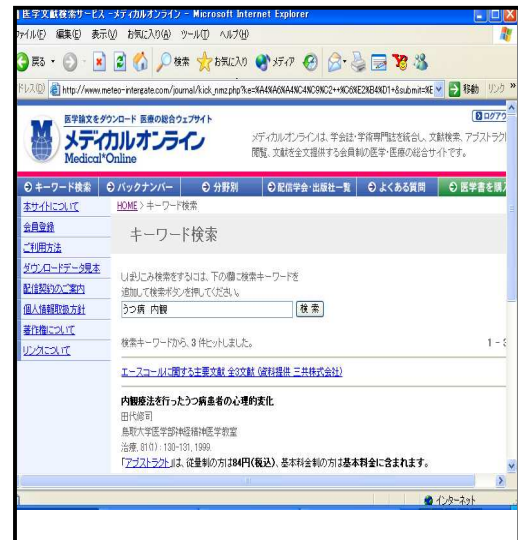


図2 メディカルオンライン画面

[ケース1]

シソーラスに分けられる自然語が当初から明確であり、調査期限は数日程度と短い。文献を求める側のテーマが明確であったことでキーワードが複数出てきた。

例1) テーマ：うつ病患者と内観について

うつ病は鬱病、鬱病ともシソーラス語 JST の JICST では検索可能であるが、メディカルオンラインにおいてはうつ病と平仮名表記のみヒットした。AND 検索後うつ病 内観で3件のヒットがあった。

アブストラクト総て閲覧後文献をダウンロードした。

[ケース2]

当初調査希望者のテーマは決まっていたが、数日おいてキーワードを決定した。この時、調査の方針もしっかりと固まっていて、調査

対象の文献の著作者もすでに決定していた。調査期限は2週間、目的は研究である。

例2) テーマ：高齢者の摂食障害の事例

絞り込みが的確になったため、1件のヒットである。アブストラクト閲覧後1件をダウンロードした。

5. 結果

上記2件ともに、口頭でのブレインタビュー時間は5分以内であり、ケース1は即日用紙に記入した。ケース2も構想が固まった後はテーマ、キーワード、期限などの項目に記入し、提出となった。

他の医療文献サイトはこの段階で可能な限りをリサーチする必要があった。対象は2件とも図書を除いた Current awareness search であり、要求の主旨が判明するとケー

ス2は fact retrieval の必要性を持っていると判断し資料の提供をした。

6. 考察

ケース1においてはキーワードが複数出たので、絞り込みに進むことが容易になった。又、文献検索用紙に自分で記入してもらうという作業により、調査依頼者の目的がより明確になり何をどう調査して欲しいかの要求が鮮明になったことで、当初の口頭によるプレインタビューの時に比べ大きく時間の短縮ができた。

また、キーワードはAND 検索もしくはOR 検索により満たされていたが、今後は依頼者の要求が NOT 検索の併用により実証などでアドバイスすることでヒット数を絞り込み、アブストラクトの選択をより容易にできると考えられる。

ケース2においても文献検索用紙欄のキーワードを含む著者名が明確になったことから、検索が容易に行われ絞り込みがケース1よりも更に明確になったことでヒットが1つとなった。既得文献に関しては図書を数冊あげていたので重複検索することはなかった。参考としてテーマに沿っていると考えられる fact retrieval の提供文献を調査した。このケースの場合は fact retrieval な資料の提供として予め選んだ Free サイトとしてのキーワードは高齢者というテーマの対象者年齢に着目した。この例では社会老年学文献データベース (<http://www2.yume-net.ne.jp/>) より資料の提供が可能となる。

しかしこのサイトは主要学術雑誌が 50 誌と少ない。メディカルオンラインは 380 誌以上の記事からなることを考えるといかにも少ないと思われるが、高齢者についての二次資料としてアブストラクトが付与されているので有益なサイトであることが判明した。但し、和文のアブストラクトが少なく精度を求める時は英文検索 preparation のための検索用語

綴りの確認などが必要である。他にもこの場合のような fact retrieval には要求に応じて厚生労働省のホームページ等からも資料提供が可能であることが判った。

7. おわりに

以上のことから文献検索用紙を用いた検索では時間の短縮とキーワードの特定などに有効であると考ええる。また、その他の Free サイトの情報はコスト削減からも GCP 及び EBM に関するデータとしても大変有益であった。今後は当病院に即した用紙の改良（結果を書く欄が狭いなど）や受身でない二次資料の幅を広げた情報提供や既得情報の管理なども考えていきたい。

文 献

- 1) 縣 俊彦：EBM のための Pub Med Impact Factor . 中外医学社，東京，2001
- 2) 病院図書室デスクマニュアル . 病院図書研究会，旭川，p60，2001
- 3) 川端秀伸、山本和利：レジデントノート . 6(5)：564-571，2004
- 4) メテオインターゲイト (2005 年 9 月 30 日現在) (<http://www.meteo-intergate.com>)
- 5) Pub Med (2005 年 9 月 30 日現在) (<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/>)